

# 2026年度(第2期)事業計画書

## 1. 事業の基本方針(総括)

本法人は、サモア独立国において現地の人々と協働して医療・教育支援活動を行い、その経験をサモア・日本両国において多くの人々と分かち合うことで、サモア・日本の人材及び文化交流を促進させることを目的とする。

第2期(2026年2月1日～2027年1月31日)は、設立初年度に構築した現地行政機関・病院・学校・NGO等との強固なネットワーク基盤を活かし、各事業の「定着」と「拡大」を目指す。医療分野では、予防歯科の普及と歯周病治療の啓発を強化し、対象地域を拡大する。教育分野では、現地教員研修や学習用具の寄贈を継続しつつ、内定を受けているKDDI財団からの助成金を活用し、STEAM教育プロジェクトを本格稼働させる。また、国内においては人員体制を整え、第1期で未実施となっていた国内事業を再開し、出前授業や異文化体験ワークショップの実施を通じて日本とサモアの架け橋としての役割をさらに深めていく。

## 2. 主要事業計画

### (1) サモアにおける医療支援事業(歯科事業)

サモアにおける口腔衛生の向上と、医療の発展に貢献するため、以下の活動を実施する。

- フッ化物洗口の拡大: サイピピ小学校等で再開したフッ化物洗口プロジェクトについて、実施校を増やすための働きかけと導入支援を行う。
- 現地医療従事者との協働活動: ツアシビ病院歯科チーム等との共同活動を強化し、歯科医師への技術指導を継続する。
- 歯周病データの蓄積と医科歯科連携: ツアシビ病院来院患者の歯周病罹患率データの蓄積・解析を継続する。また、歯周病と全身疾患の関連性の周知を図るため、現地医師との意見交換の場を設ける。
- 実施予定時期: 現地渡航予定: 4月、9月

### (2) サモアにおける教育支援事業

サモアにおける教育の質向上と、子どもたちの認知能力・非認知能力の育成を目指し、以下の活動を実施する。

- 教員支援の継続・拡大: 現地教員向け算数教育ワークショップの実施、学校訪問、学習用具(教材)の寄贈を継続し、現地教員のコミュニティ拡大を図る。

- **STEAM教育プロジェクトの発展(助成金活用事業)**: KDDI財団の助成金を活用し、現地NGO等と協働でLEGOプログラムやICT教育の啓発を目的としたイベントを全国で2回開催する。
- **関係機関との協議加速**: サモア教育省や教育NGO(SELF、Aoga Fiamalamalama、SENESE等)との協議を加速させ、具体的な連携事業の実現を目指す。
- **実施予定時期**: 現地渡航予定:7月

### (3) 国内での開発教育に関する事業(国内事業)

日本国内の市民(特に子どもたち)に対し、国際協力・異文化理解の機会を提供するため、以下の活動を実施する。

- **出前授業「セカイ to ジブン」プロジェクト**: 日本国内の小・中・高校に向けて、世界の問題を考える授業プログラムを提供する(目標実施数:10校)。
- **サモア展の実施**: サモアの文化や当法人の活動を広く知ってもらうための展示会を、全国で開催する。
- **実施予定時期**: 年間を通じて実施

---

## 3. 組織・運営体制に関する計画

- **役員体制の強化**: 第1回定時社員総会の決議に基づき、海外在住の板垣暁歩氏が帰国次第、新たに理事として就任する手続き(就任承諾および変更登記)を速やかに行い、運営体制を強化する。
- **会員(サポーター)の拡大**: 新定款で定めた新たな会員区分(個人会員、マンスリー会員、団体会員等)に基づき、広く支援を呼びかけ、賛助会員50名の獲得を目指す。

---

## 4. 資金調達・広報計画

- **資金調達**: KDDI財団からの助成金(100万円予定)を適切に管理・運用する。また、新規プロジェクトの実施に伴い、必要に応じてクラウドファンディングや寄付キャンペーンの実施や助成金の申請を行う。
- **広報活動**: 法人WebサイトおよびSNS(Instagram、Facebook等)を高い頻度で更新し、支援者に対する活動の透明性を高め、継続的な関係構築に努める。

---

## 5. 中長期的な展望

本法人は、医療支援事業(歯科事業)、教育支援事業および日本国内事業の三つを相互に関連づけながら、中長期的に持続可能な活動として発展させていくことを目指す。

医療支援事業(歯科事業)においては、現地歯科医師や医療機関との協働関係を基盤として、予防歯科および人材育成の観点から継続的な支援体制の確立を図る。単発的な支援にとどまらず、現地側が主体的に取り組める仕組みづくりを重視する。

教育支援事業においては、教員向け支援や子ども向け教育プログラムの質を段階的に高め、算数教育やSTEAM教育を中心とした実践を蓄積する。現地教育関係者や行政機関、NGOとの連携を深めながら、地域に根ざした教育支援モデルの構築を目指す。

日本国内事業においては、サモアでの医療・教育支援の経験を、日本国内の学校や市民向けの学びの機会として還元し、国際協力や異文化理解への関心を高める活動を継続する。これにより、国内外の活動が相互に循環し、次の支援につながる好循環を生み出すことを目指す。

本法人は、これら三つの事業を通じて、人と人とのつながりを大切にしながら、小規模であっても着実に社会的意義のある活動を積み重ね、サモアと日本を結ぶ持続可能な国際協力の形を探求していく。

以上

## 収支予算書(案)

2026年2月1日から2027年1月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	
<b>I 経常収益</b>		
<b>1. 受取会費</b>		
正会員受取会費	48,000	12,000円×4名
賛助会員受取会費	600,000	個人、マンスリー、団体会員会費の見込み
<b>2. 受取寄付金</b>		
受取寄付金	1,300,000	クラウドファンディングや一般寄付の見込み
<b>3. 受取助成金等</b>		
受取民間助成金	1,000,000	KDDI財団助成金(内定分)
<b>4. その他収益</b>		
雑収益(受取利息など)	5,000	
<b>経常収益計</b>	<b>2,953,000</b>	
<b>II 経常費用</b>		
<b>1. 事業費</b>		
旅費交通費	2,000,000	サモア渡航費、国内移動費など
消耗品費	600,000	寄贈用学習用具、LEGOキット購入費など
会議費	50,000	現地教員研修開催費など
通信運搬費	50,000	物資の輸送費、通信費など
支払手数料	10,000	クラウドファンディングの手数料など
<b>事業費計</b>	<b>2,710,000</b>	
<b>2. 管理費</b>		
通信運搬費	100,000	HPサーバー代、ソフトウェア使用料など
支払手数料	10,000	銀行送金手数料など
<b>管理費計</b>	<b>110,000</b>	
<b>経常費用計</b>	<b>2,820,000</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>133,000</b>	
<b>税引前当期正味財産増減額</b>	<b>133,000</b>	
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>71,000</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>62,000</b>	
<b>前期繰越正味財産額</b>	<b>8,908</b>	
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>70,908</b>	